

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	琉美インターナショナルビューティカレッジ
設置者名	学校法人 琉美学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
衛生専門課程	美容本科昼間部	夜・通信	2,010	160	
	エステビジネス科	夜・通信	1,900	160	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HP上 http://www.ryubi-ac.com/syokugyou/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	琉美インターナショナルビューティカレッジ
設置者名	学校法人 琉美学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HP上 <http://www.ryubi-ac.com/syokugyou/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	興南学園 興南高等学校 教頭職（平成22年退職）	3年	理事
非常勤	株式会社エフエム沖縄	3年	理事
非常勤	うみない美	3年	理事、実務経験者としてのアドバイザー
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	琉美インターナショナルビューティカレッジ
設置者名	学校法人 琉美学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>教育基本法、学校教育法、美容師法及び美容師養成施設における指導要領等の法令に従い、校長、学科長及びカリキュラム担当責任者と企業・団体等との連携により教育課程編成委員会の下、業界に即した教育目標を設定し教育課程の編成に取り組む。</p>	
授業計画書の公表方法	HP 上 http://www.ryubi-ac.com/syokugyou/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>成績評価は、学期末試験、授業態度、課題提出物、出席率等で評価する。</p> <p>① 算出法 a. 成績評価は A (優)、B (良)、C (可)、N (認定) の4段階とする。</p> <p>b. 科目ごとに試験を行い学期末に試験結果・出席状況等で評価する。</p> <p>c. 試験の行わない科目については学期末に・課題提出物、レポート等で評価する。</p> <p>② 評価基準 a. 科目ごとに、原則以下の基準に従って評価する。</p> <p>A (優) : 課目に対する理解および日常の授業態度が優秀な者 (100 点～81 点)</p> <p>B (良) : 課目に対する理解および日常の授業態度が良好な者 (71 点～80 点)</p> <p>C (可) : 課目に対する理解および日常の授業態度がやや劣る者 (60 点～70 点)</p> <p>N(認定) : 課目に対する理解および日常の授業態度が著しく劣る者 (59 点以下)</p> <p>③ 考查資格 学期末に、当該科目の出席率を集計し、3分の2 (実習を伴う教科科目は5分の4) 以上の出席率のない者は考查の対象とならない。従って、成績いかにかわらず不可となり追試験を受験する。</p> <p>④ 追試験 a. N (認定) の者は追試験を行い学習の機会を与える。</p> <p>b. 追試験に合格しない者は卒業・進級を認めない。(留年)</p> <p>c. 追試験の合格者は原則としてC (可) とする。</p> <p>⑤ 通知表 各期末に定期試験の結果・学習理解度ならびに態度に応じて評価の上、通知表を作成し、学期末ごとに保護者に郵送する。</p> <p>⑥ 成績を集計し学年ごとに順位付けを行うこととする。</p>	
<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>同上</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>HP 上 http://www.ryubi-ac.com/syokugyou/</p>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業認定の基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 学則で定める必要な単位数(時間数)を履修していること。 ● 教科課目の区分ごとに、その教科課目の3分の2(実習を伴う教科科目は5分の4)以上出席していること。 ※欠席・遅刻による欠課が発生した場合は、当該課目における補習を行うこと。 ● 定期試験が必修科目及び選択必修科目 60 点以上であること。 	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>HP 上 http://www.ryubi-ac.com/syokugyou/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	琉美インターナショナルビューティカレッジ
設置者名	学校法人 琉美学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	HP 上で公開 http://www.ryubi-ac.com/syokugyou/
収支計算書又は損益計算書	HP 上で公開 http://www.ryubi-ac.com/syokugyou/
財産目録	HP 上で公開 http://www.ryubi-ac.com/syokugyou/
事業報告書	HP 上で公開 http://www.ryubi-ac.com/syokugyou/
監事による監査報告（書）	HP 上で公開 http://www.ryubi-ac.com/syokugyou/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門課程	美容本科昼間部	平成19年文部科学省告示第20号	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2010 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		43人	人	12人	12人	24人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 教育基本法、学校教育法、美容師法及び美容師養成施設における指導要領等の法令に従い、校長、学科長及びカリキュラム担当責任者と企業・団体等との連携により教育課程編成委員会の下、業界に即した教育目標を設定し教育課程の編成に取り組む。
成績評価の基準・方法
（概要） 成績評価は、学期末試験、授業態度、課題提出物、出席率等で評価する。
① 算出法 a. 成績評価はA（優）、B（良）、C（可）、N（認定）の4段階とする。 b. 科目ごとに試験を行い学期末に試験結果・出席状況等で評価する。 c. 試験の行わない科目については学期末に・課題提出物、レポート等で評価する。
② 評価基準 a. 科目ごとに、原則以下の基準に従って評価する。 A（優）：課目に対する理解および日常の授業態度が優秀な者（100点～81点） B（良）：課目に対する理解および日常の授業態度が良好な者（71点～80点） C（可）：課目に対する理解および日常の授業態度がやや劣る者（60点～70点） N（認定）：課目に対する理解および日常の授業態度が著しく劣る者（59点以下）

<p>③ 考查資格 学期末に、当該科目の出席率を集計し、3分の2（実習を伴う教科科目は5分の4）以上の出席率のない者は考查の対象とならない。従って、成績いかんにかかわらず不可となり追試験を受験する。</p> <p>④ 追試験 a. N（認定）の者は追試験を行い学習の機会を与える。 b. 追試験に合格しない者は卒業・進級を認めない。（留年） c. 追試験の合格者は原則としてC（可）とする。</p> <p>⑤ 通知表 各期末に定期試験の結果・学習理解度ならびに態度に応じて評価の上、通知表を作成し、学期末ごとに保護者に郵送する。</p> <p>⑥ 成績を集計し学年ごとに順位付けを行うこととする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>卒業認定の基準</p> <ul style="list-style-type: none"> • 学則で定める必要な単位数（時間数）を履修していること。 • 教科科目の区分ごとに、その教科科目の3分の2（実習を伴う教科科目は5分の4）以上出席していること。 ※欠席・遅刻による欠課が発生した場合は、当該科目における補習を行うこと。 • 定期試験が必修科目及び選択必修科目 60点以上であること。
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>月謝払い制度、一人暮らし支援制度、指定校推薦入試制度、親族入学金割引制度、風水災害被害家庭に対する入学金の免除制度</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7人 (100%)	人 (%)	7人 (100%)	人 (%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>美容室、ネイルサロン、ブライダルサロン、結婚式場 他</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 就職指導担当者による、個別面談 • 県内外の美容室による校内での合同ガイダンスの開催 			
<p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <p>美容師国家資格、日本エステティック協会認定エステティシャン、ネイル検定、メイク検定、色彩検定、パーソナルカラーリスト検定、WBJプランナー検定、WBJコーディネーター検定</p>			
<p>（備考）（任意記載事項）</p> <p>ミルボンフォトレボリューション入賞</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
43人	0人	0%

(中途退学の主な理由)
(中退防止・中退者支援のための取組) 経済的困窮者に向けた月謝払い制度の導入、夜間・通信課程での学習方法の変更の案内、経済的事情が落ち着くまでの休学の案内

①-2 学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門課程	エステビジネス科	平成 27 年文 部科学省 告示第 13 号	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 1740 単位時間/単位	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼		単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		14 人	人	人	人	人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 教育基本法、学校教育法、美容師法及び美容師養成施設における指導要領等の法令に従い、校長、学科長及びカリキュラム担当責任者と企業・団体等との連携により教育課程編成委員会の下、業界に即した教育目標を設定し教育課程の編成に取り組む。
成績評価の基準・方法
(概要) 成績評価は、学期末試験、授業態度、課題提出物、出席率等で評価 する。 ① 算出法 a. 成績評価は A (優)、B (良)、C (可)、N (認定) の 4 段階とする。 b. 科目ごとに試験を行い学期末に試験結果・出席状況等で評価する。 c. 試験の行わない科目については学期末に・課題提出物、レポート等で評価する。 ② 評価基準 a. 科目ごとに、原則以下の基準に従って評価する。 A (優) : 課目に対する理解および日常の授業態度が優秀な者 (100 点~81 点) B (良) : 課目に対する理解および日常の授業態度が良好な者 (71 点~80 点) C (可) : 課目に対する理解および日常の授業態度がやや劣る者 (60 点~70 点) N (認定) : 課目に対する理解および日常の授業態度が著しく劣る者 (59 点以下) ③ 考查資格 学期末に、当該科目の出席率を集計し、3 分の 2 (実習を伴う教科課目は 5 分の 4) 以上の出席率のない者は考查の対象とならない。従って、成績いかんにかかわらず不可となり追試験を受験する。 ④ 追試験 a. N (認定) の者は追試験を行い学習の機会を与える。 b. 追試験に合格しない者は卒業・進級を認めない。(留年) c. 追試験の合格者は原則として C (可) とする。 ⑤ 通知表 各期末に定期試験の結果・学習理解度ならびに態度に応じて評価の上、通知表を作成し、学期末ごとに保護者に郵送する。 ⑥ 成績を集計し学年ごとに順位付けを行うこととする。

卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業認定の基準
<ul style="list-style-type: none"> 学則で定める必要な単位数(時間数)を履修していること。 教科課目の区分ごとに、その教科課目の3分の2(実習を伴う教科科目は5分の4)以上出席していること。 ※欠席・遅刻による欠課が発生した場合は、当該課目における補習を行うこと。 定期試験が必修科目及び選択必修科目60点以上であること。
学修支援等
(概要) 経済的困窮者に向けた月謝払い制度の導入、夜間・通信課程での学習方法の変更の案内、経済的事情が落ち着くまでの休学の案内

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
4人 (100%)	人 (%)	4人 (100%)	人 (%)
(主な就職、業界等) ネイルサロン、ブライダルサロン、ホテルスパサロン、エステティックサロン、他			
(就職指導内容) ・就職指導担当者による、個別面談 ・県内外のエステサロンによる校内での合同ガイダンスの開催			
(主な学修成果(資格・検定等)) 日本エステティック協会認定エステティシャン、ネイル検定、メイク検定、色彩検定、パーソナルカラリスト検定			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
美容本科 昼間部	100,000 円	600,000 円	200,000 円	
エステビ ジネス科	100,000 円	540,000 円	250,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
経済的困窮者に向けた月謝払い制度の導入 (一括支払い、3分割支払い、月謝払い) 個々の家庭事情のヒアリングを行い適切な経済支援を行っている 一人暮らし支援制度、風水災害にあった家庭への入学金免除制				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) HP 上で公開 http://www.ryubi-ac.com/syokugyou/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
1. 教育活動及び学校運営について、単年度及び中・長期の目標とそれらを達成するための具体的方策を設定し、その達成状況を評価することによって教育活動の改善を図るとともに、学校教育の質的向上に資することを目的とする		
2. 学校評価の結果を公表することにより、専門学校としての説明責任を果たすとともに開かれた学校づくりを推進する		
3. 学校評価の結果に応じて、学校に対する指導・助言や条件整備等の必要な措置を講じることにより、教育内容の充実を図る		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
沖縄県美容業生活衛生同業組合	2018年10月1日～2021年9月30日	企業委員
有限会社サンビューティナイル	2018年10月1日～2021年9月30日	企業委員
Tier by NEW WAVE	2018年10月1日～2021年9月30日	企業委員
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) HP 上で公開 http://www.ryubi-ac.com/syokugyou/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

HP 上で公開

<http://www.ryubi-ac.com/syokugyou/>